

えんぼとたんぼの始発駅 里山ビオトープ二俣瀬	会 報 第 228 号	2020年7月27日 里山ビオトープ二俣瀬をつくる会 編集責任者：原谷 一誠
---------------------------	-------------	--

1. 活動報告（事務局 記）

- 6月28日（日）会員11名と体験者として観察隊父兄1名（男性）が参加し、竹林の伐採、草刈り（駐車場、観察路の周辺）、除去草の撤去の作業を実施しました。
作業実施前には、20周年記念イベントについて協議を行いました。また夕方、原田会長、小林会員の2名で、田圃の補植および除草が行われました。
- 7月5日（日）会員15名と観察隊父兄1名（男性）が参加し、水車回りの柵設置、止水地のコウホネ除去、草原水路内のウチワゼニクサ除去の作業を実施しました。
- 7月11日（土）会員13名が参加し、草刈り（観察路の周辺・駐車場）、除去草の処理の作業を実施しました。また観察隊による田圃・ヨケジの除草が行われました。
観察隊はこの後、水生動物の観察も行いました。観察隊は子供10名、保護者8名が参加しましたが、保護者には除去草の処理を手伝ってもらいました。
- 7月12日（日）秋吉建設さんにて水車下溜池土手の嵩上げ工事施工
※ 追って19日（日）水車通水式の準備として草原ゾーンの整地・草焼却・水車運転テスト等を実施
- 7月16日（木）田んぼのイノシシ被害が発生した為防護柵（電気柵）を設置
※ 設置の為田んぼの周囲・蓮田の周囲の草刈り実施し、他立入注意看板製作取付
- 7月26日（日）会員14名と観察隊保護者1名が参加し、水路周辺・観察路の草刈り、水車回りの整地、清瀬峡の清掃、倉庫の整理（観察隊使用器具の確認）の作業を実施しました。作業前には、水車通水式についての打ち合わせを行いました。

2. 今後の予定（事務局 記）

◎行 事

- 8月1日（土）水車通水式、親子自然観察隊（水棲動物観察・須賀河内川）
- 8月22日（土）維持活動（草刈り、虫取り）
- 8月29日（土）維持活動・草刈り（駐車場・須賀河内川一部）

3. 来訪者の声

今回はありません。

4. 会員の声 「 」(記)

今回はありません。

5. 親子自然観察隊「稲作体験」 (管 哲郎 記)

昨日、昨夜の大雨にもかかわらず今朝は雨も上がり青空の広がる絶好な作業日和となりました。道路や草むらは濡れていましたが、田んぼの作業には全く関係ありません。気温も25℃～28℃と体を動かすには一番良い時間帯でした。

植えられた稲は25 cmほどに成長していました。今日の作業は稲と稲の間を歩き、足跡を残してゆく作業です。足が泥の中に入ると泥の中の空気が入れ替わり、根の張りが良くなるそうです。原田会長の号令で手をつないだ子供たちはいっせいに田んぼの中を歩いてゆきました。

最初は泥に足を取られうまく歩けず、倒れかけたりしていましたが、折り返しの時にはつないだ手を外し自分一人で歩けるようになるなど、すぐに田んぼ歩きが上手になったようです。歩き作業が終わると「ヨケジ」内の雑草の引き抜きを行いました。中にはオタマジャクシから仔カエルになったのを夢中で追っかけている子たちもいましたが、雑草抜きもすぐに終了し、今日の作業を無事に終えました。

休憩後は自由にビオトープの中で生物観察を行いました。水中の昆虫を捕まえたり、チョウやトンボ、バッタ、クワガタなどを採集しました。

<採集した生き物>

ツマグロヒョウモン・ショウジョウトンボ・コオニヤンマ・クロイトトンボ・ギンヤンマ、ヤゴ・アジイトトンボ、ヤゴ・ショウジョウトンボ、ヤゴ・シオカラトンボ、ヤゴ・ノコギリクワガタ・ノコギリカミキリ♂、♀・コクワガタ・ハラビロカマキリ未熟・オオカマキリ未熟・ショウリョウバッタ未熟・ケラ未熟・タイコウチ・コオイムシ・ゲンゴロウ幼虫・ツチガエル・ヌマガエル・トノサマガエル・オタマジャクシ等々、皆多くの生き物たちを見つけ採集していました。タニシをたくさん集めた隊員もいましたが、持ち帰れず放して帰りました。

久しぶりに十分フィールドで遊べ、隊員たちも大満足してビオトープを後にしたようです。事故もなく無事に終え良い一日になりました。皆さん、ご苦労様でした。



水田の中を踏む



生物の観察

6. ビオトープ関連：「山口県の昆虫たち」 （ 管 哲郎 記）

(53) ヒゲコメツキ *Pectocera fortune* (コメツキムシ科)

コメツキムシはひっくり返すとパチンと地面をはじいて飛び上がり元に戻ることから、子供たちの間で割と人気の昆虫でした。今の子供たちはこんな虫を知っているのでしょうか。コメツキムシの中でも特に長いひげを持っている珍しいコメツキムシです。♂にはクシ状のひげがありますが♀は普通のひげです。花にもよく訪れ、灯火にも飛来します。北海道から九州まで生息していますが、なかなか見ることがありませんのでこのたび紹介しました。秋吉台周辺の森で見つけ撮影したものです。



ヒゲコメツキ♂



代表的なコメツキムシ

引用・参考文献

福田晴夫ほか、2005. 昆虫図鑑 採集と標本の作り方. pp. (株) 南方新社. 鹿児島.

7. 会よりの連絡事項

- 1) 稲作の無効分結抑制作業「の土用干し」は7月22日よりまず間欠注水を行っています。本格的には7月末より8月1日頃まで5日間位を行います。天気次第で短くもなります。本年は梅雨が終わらず効果（無効分結抑制）が薄いと思われ収穫量にもかなりの影響が有ると考えています。
- 2) 通水式が8月1日開催されます。準備の為7月31日午後4時より参加をお願いします。

8. 編集後記 （ 松本 フデ子 記 ）

ネムノキはふんわり優しい花を咲かせ、ナツツバキは今年も多く蕾をつけて次々に花を咲かせている。いい香りを漂わせ咲いているクチナシの白い花、今年初めてこの花とここで巡り会えた。毎年咲いていたのかもしれないけれど。池の中にはオオカナダモの丸い三弁の小さな可愛い白い花が沢山咲いている。スイレンやコオホネ等いつも見ていたのにどうして今迄一度も気づかなかったのだろうか。見ているようでただぼーと眺めていただけだったのか、いま今増えたオオカナダモでもないのに。ウツボグサ、アザミ、シロツメグサ、カタバミ、ネジバナ、ヒメジョウオン等々他にも名前も知らない花も咲いている。ハスの葉が元気に成長している。どんな花をいつ咲かせてくれるか楽しみだ。